

# 「タネ」を食べる新しいかぼちゃ 「ストライプペポ」の安定生産技術

国内初！ ‘かぼちゃのタネ’ の産地づくりを目指し、新品種「ストライプペポ」の栽培技術を確立

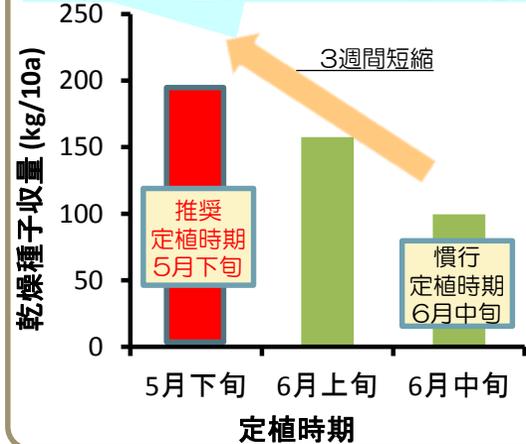
## 背景

- ・菓子などのトッピングとして利用される「かぼちゃのタネ」はほとんどが輸入品  
 → 道内の菓子メーカー等の実需者からの要望；道産の「かぼちゃのタネ」の供給・産地化
- ・タネに厚い殻がなく、加工しやすい ‘新品種「ストライプペポ」が開發される  
 → 産地化と安定供給；安定生産するための栽培技術の確立が急務

## 成果

### ① 栽培法の検討

【定植時期（苗を植える時期）】  
 ● 早く定植するほど収量が増加



開花後50日の果実とタネ



未熟（収穫 ×）

<開花期；6月下旬～7月上旬>

開花後60日の果実とタネ



成熟（収穫 ◎）

【収穫期】

○タネが成熟するためには開花後60日程度が必要

### ② 栽培指針

播種～収穫に至る栽培技術を確立！

### 期待される効果

- ・新品目 ‘かぼちゃのタネ’ の産地化及び新たな市場開拓
- ・道内産 ‘かぼちゃのタネ’ に関連した商品開発を促進

共同研究機関：和寒町農業活性化センター、(株)わっさむファクトリー、JA北ひびき和寒基幹支所、藤女子大学

### ③ 産地づくり

当初の目標：作付面積3ha



H26年度実績：  
 作付面積約9ha  
 <今後も拡大>

同時に商品開発も進行中！

200～300tを道産かぼちゃで！

